

学修行動(学修意欲・学修方略) 調査報告

2026.7.1 IR室

学修意欲/学習方略の調査結果について

- 学習意欲では、前年と比較して以下のような変化がみられた。
 - 全体:「欠席しないようにしている」の平均値が上昇
 - 総合ビジネス・情報学科:「欠席しないようにしている」の平均値が上昇
 - 生活プロデュース学科:全体的に平均値が上昇
 - 保育学科:「グループワークに積極的に参加」の平均値が上昇

学修意欲/学習方略の調査結果について

- 学習方略では、前年と比較して、全体では「生成AIの利用」の増加、「友達と教えあう」「授業で習ったことを自分でもっと詳しく調べる」の減少などの変化があった。
- 学習意欲と学習方略のクロス分析から、学習方略の平均値が高い方が成長実感を得られる傾向がみられる。

学修意欲の調査について

◆2025年度「学修に関するアンケート」設問
「授業への取り組み方に関して、以下の項目が自分自身にどれくらい当てはまるかお答えください。」

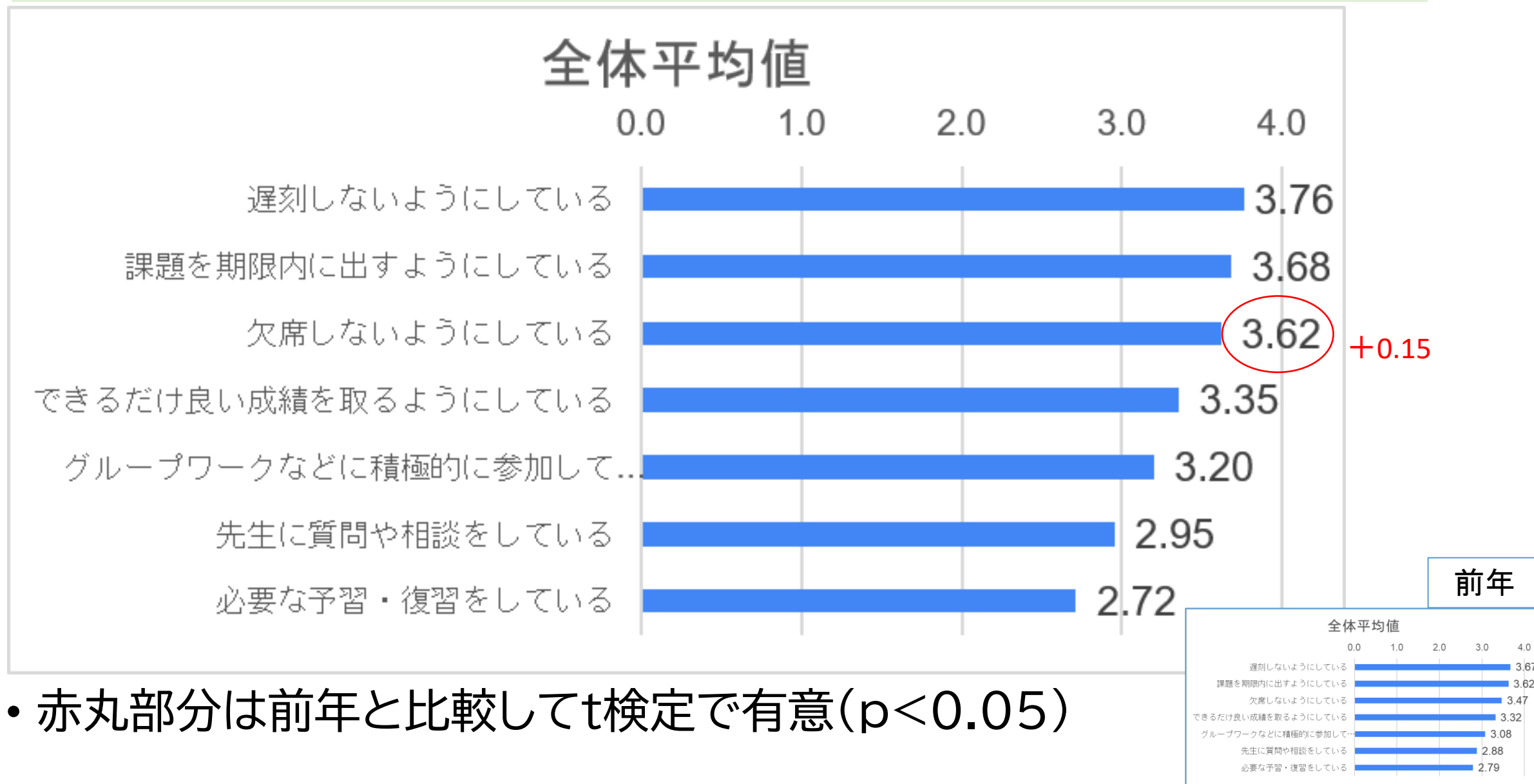
- 欠席しないようにしている
- 遅刻しないようにしている
- 課題を期限内に出すようにしている
- 必要な予習・復習をしている
- 先生に質問や相談をしている
- グループワークなどに積極的に参加している
- できるだけ良い成績を取るようにしている

学修意欲の調査について

◆回答…

- 当てはまらない(1点)
- あまり当てはまらない(2点)
- 当てはまる(3点)
- よく当てはまる(4点)

学修意欲調査結果



学修意欲調査結果

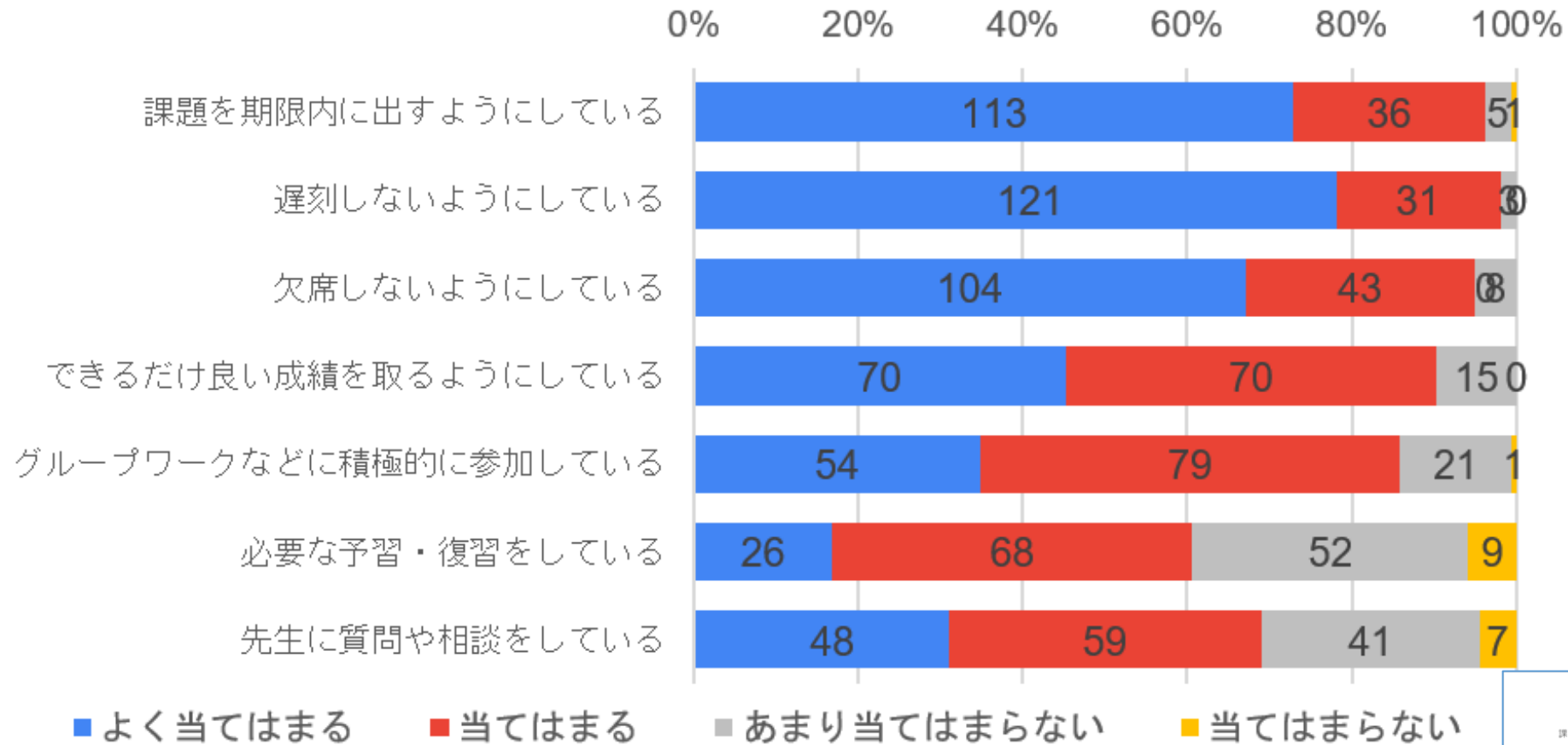
■全体平均点(前年比較)

項目	平均点数	前年	差数	t検定
遅刻しないようにしている	3.76	3.67	0.09	0.109
課題を期限内に出すようにしている	3.68	3.62	0.06	0.358
欠席しないようにしている	3.62	3.47	0.15	0.037
できるだけ良い成績を取るようにしている	3.35	3.32	0.04	0.624
グループワークなどに積極的に参加している	3.20	3.08	0.12	0.139
先生に質問や相談をしている	2.95	2.88	0.07	0.444
必要な予習・復習をしている	2.72	2.79	-0.07	0.422
全体	3.33	3.26	0.07	0.045

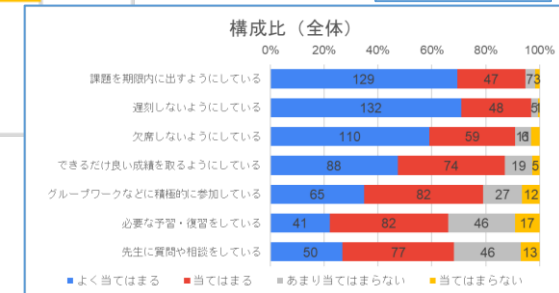
- ・「欠席しないようにしている」「グループワークなどに積極的に参加している」等、全体的に平均値が上昇
- ・ 網掛け部分は前年と比較してt検定で有意($p < 0.05$)

学修意欲調査結果

構成比（全体）



前年

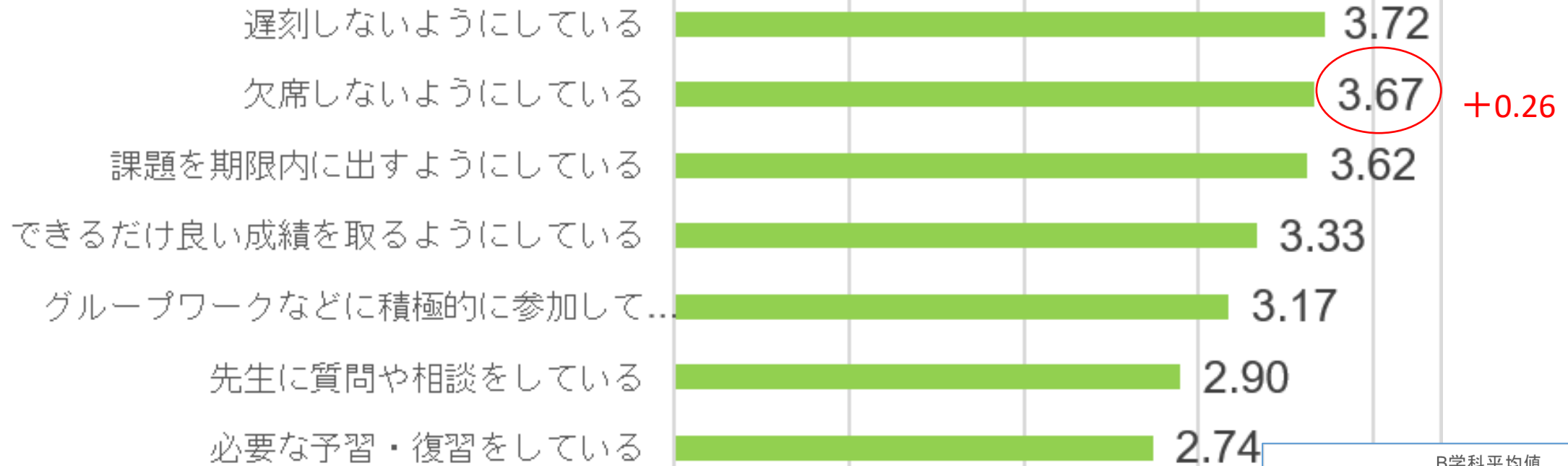


- ・ 前年と比較して大きな変化はない

学修意欲調査結果

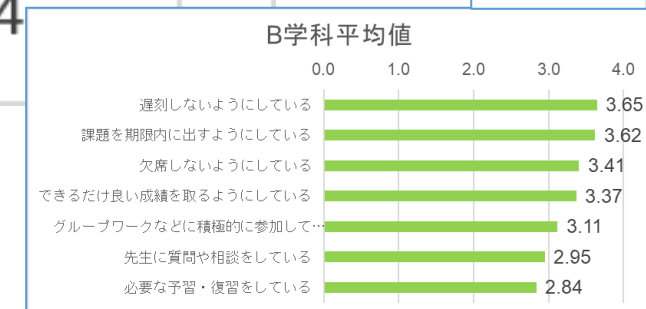
B学科平均値

0.0 1.0 2.0 3.0 4.0



前年

- 赤丸部分は前年と比較してt検定で有意($p < 0.05$)



学修意欲調査結果

■ 平均値 (前年比較)

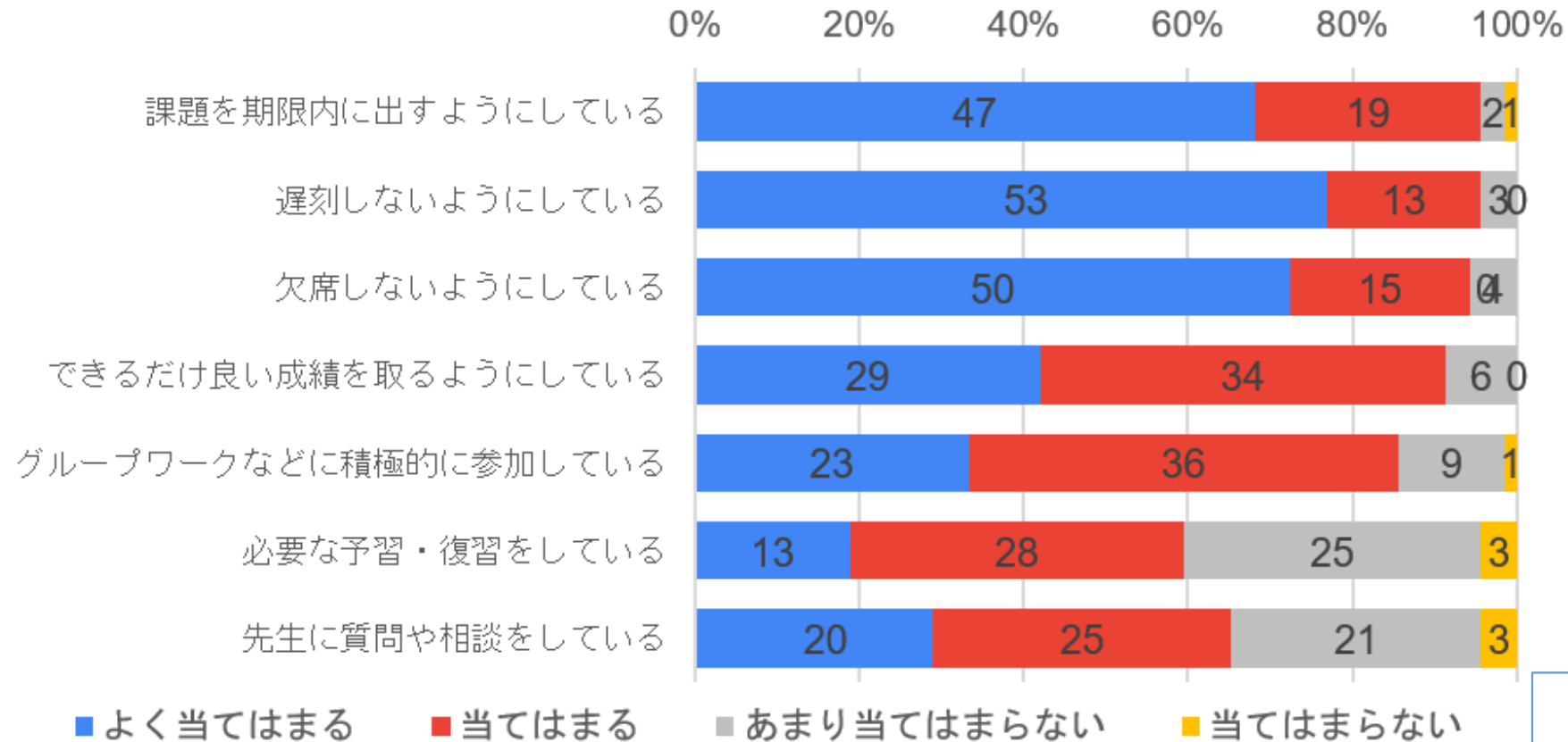
総合ビジネス・情報学科

項目	平均値	前年	差数	t検定
遅刻しないようにしている	3.72	3.65	0.08	0.372
欠席しないようにしている	3.67	3.41	0.26	0.020
課題を期限内に出すようにしている	3.62	3.62	0.00	0.977
できるだけ良い成績を取るようにしている	3.33	3.37	-0.03	0.765
グループワークなどに積極的に参加している	3.17	3.11	0.06	0.636
先生に質問や相談をしている	2.90	2.95	-0.05	0.721
必要な予習・復習をしている	2.74	2.84	-0.10	0.481
全体	3.31	3.28	0.03	0.516

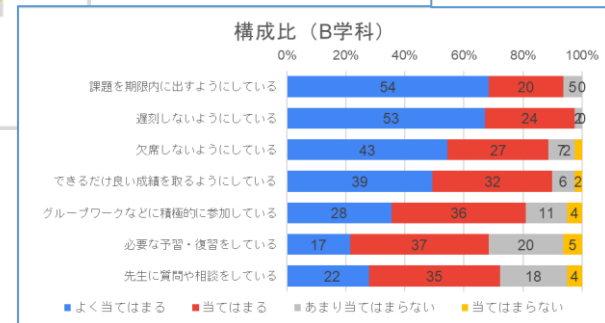
- 網掛け部分は前年と比較してt検定で有意($p < 0.05$)

学修意欲調査結果

構成比（B学科）

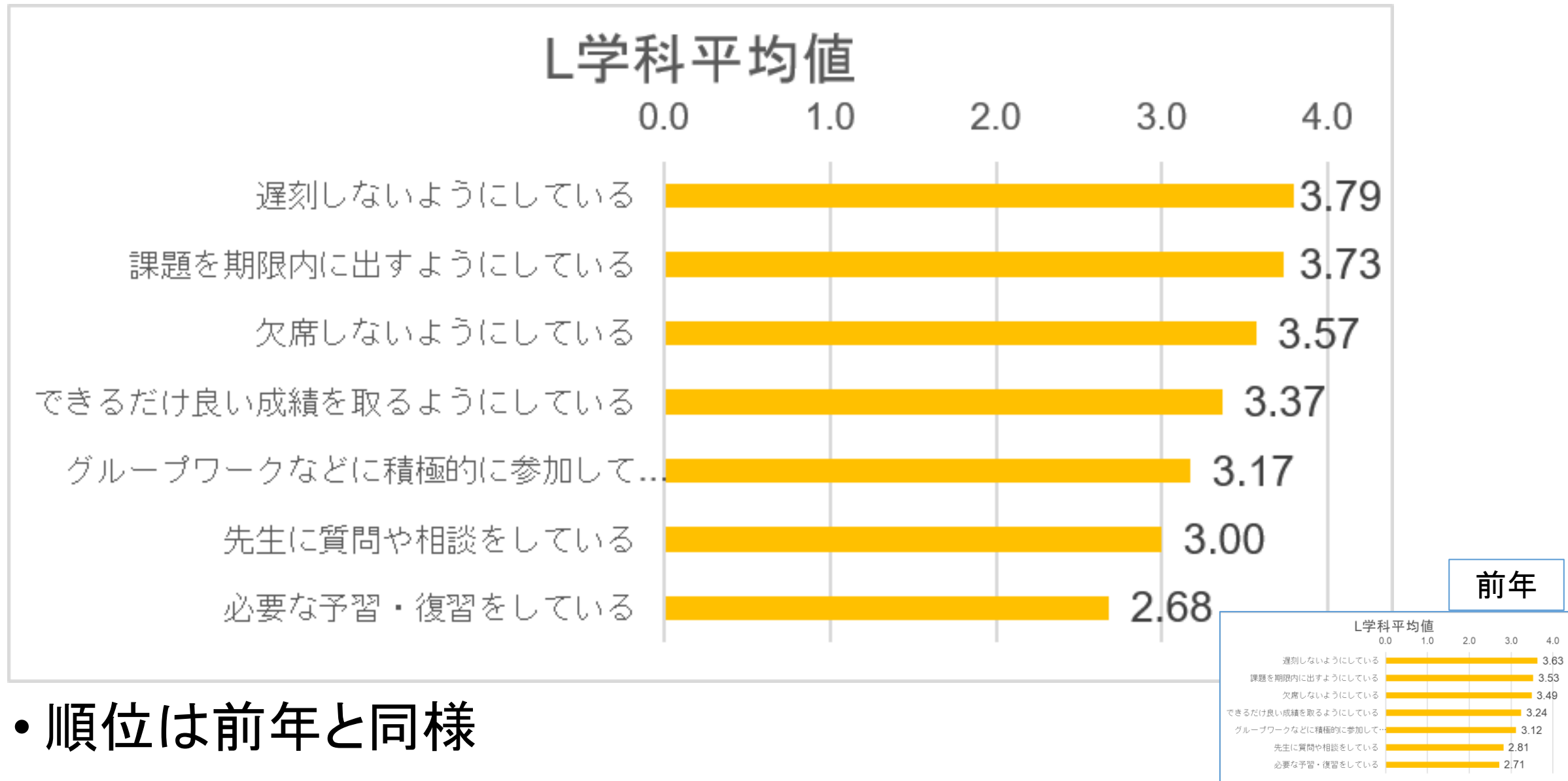


前年



- ・「欠席しないようにしている」は6割弱から7割強に増加

学修意欲調査結果



学修意欲調査結果

■ 平均値 (前年比較)

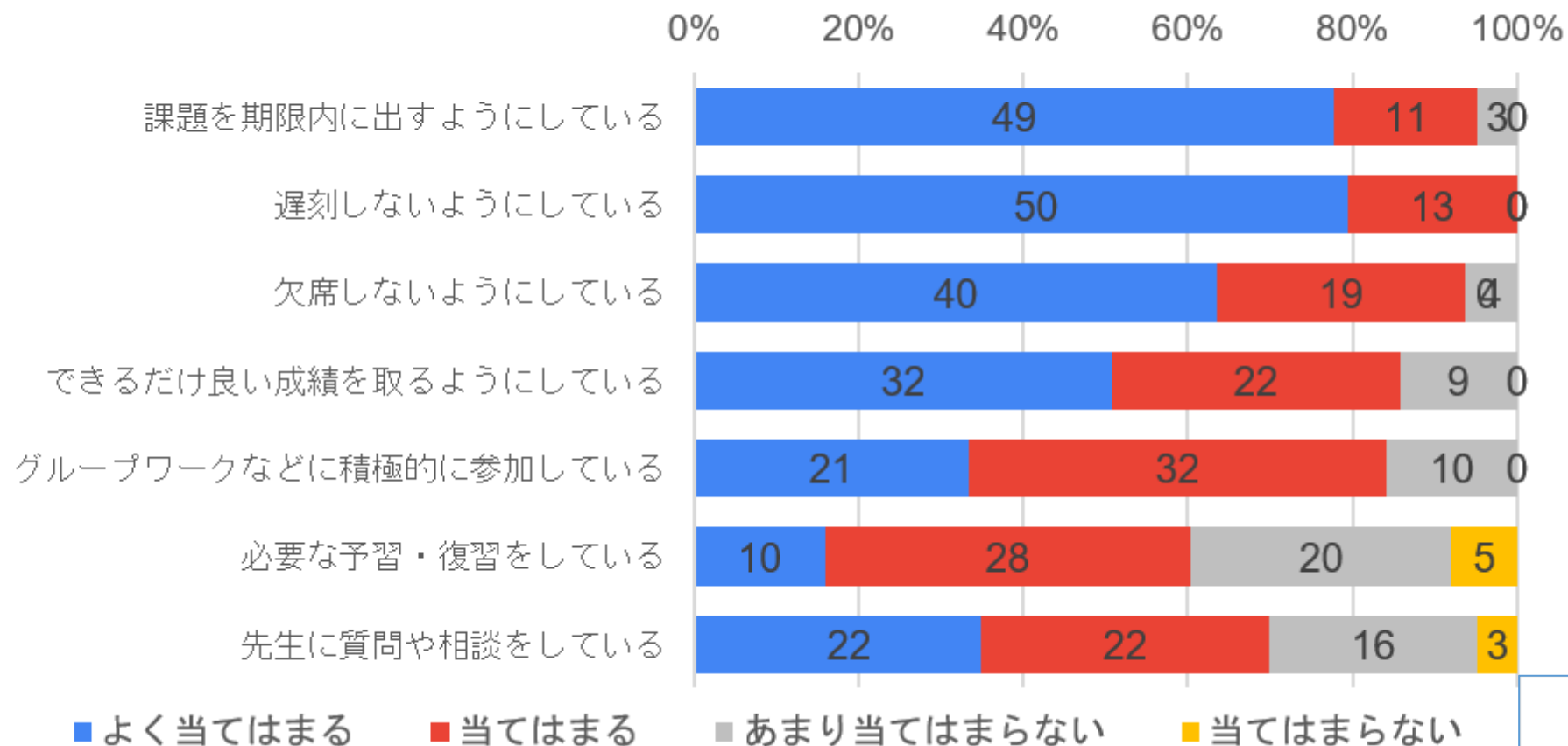
生活プロデュース学科

項目	平均値	前年	差数	t検定
遅刻しないようにしている	3.79	3.63	0.17	0.053
課題を期限内に出すようにしている	3.73	3.53	0.20	0.064
欠席しないようにしている	3.57	3.49	0.08	0.468
できるだけ良い成績を取るようにしている	3.37	3.24	0.13	0.317
グループワークなどに積極的に参加している	3.17	3.12	0.06	0.691
先生に質問や相談をしている	3.00	2.81	0.19	0.249
必要な予習・復習をしている	2.68	2.71	-0.03	0.849
全体	3.33	3.22	0.11	0.037

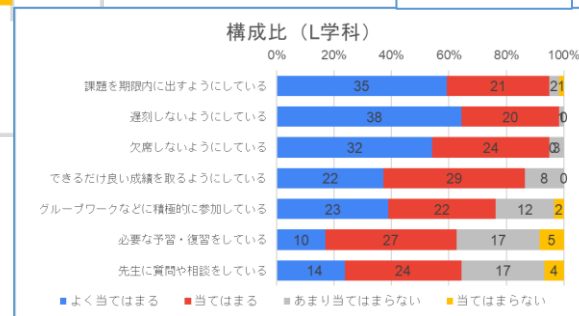
- ・「遅刻しないようにしている」「課題を期限内に出すようにしている」等、全体的に平均値が上昇
- ・ 網掛け部分は前年と比較してt検定で有意($p < 0.05$)

学修意欲調査結果

構成比（L学科）

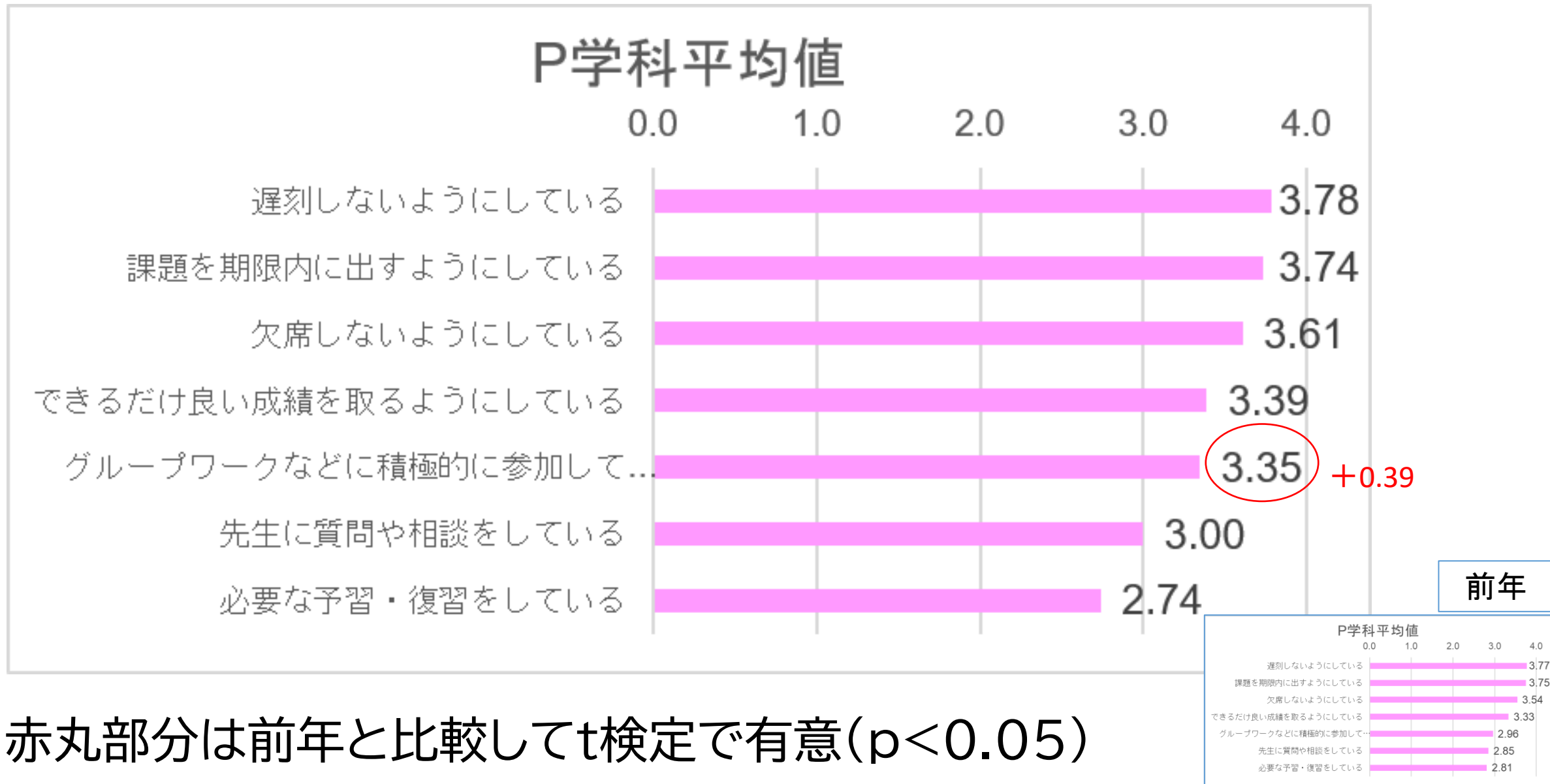


前年



- 「課題を期限内に出すようにしている」「遅刻しないようにしている」に「良くあてはまる」の構成比が増加

学修意欲調査結果



学修意欲調査結果

■ 平均値 (前年比較)

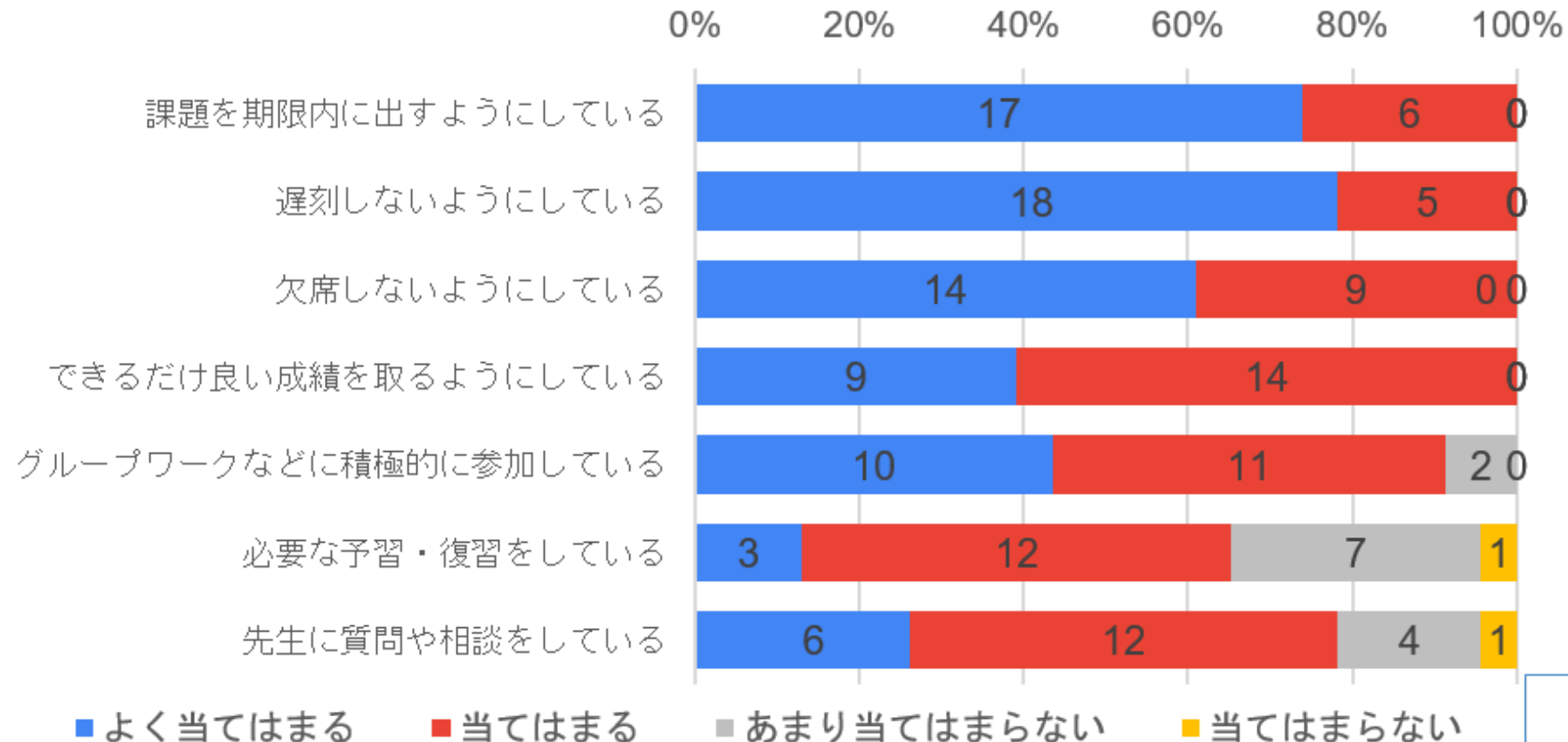
保育学科

項目	平均値	前年	差数	t検定
遅刻しないようにしている	3.78	3.77	0.01	0.926
課題を期限内に出すようにしている	3.74	3.75	-0.01	0.936
欠席しないようにしている	3.61	3.54	0.07	0.688
できるだけ良い成績を取るようにしている	3.39	3.33	0.06	0.730
グループワークなどに積極的に参加している	3.35	2.96	0.39	0.047
先生に質問や相談をしている	3.00	2.85	0.15	0.505
必要な予習・復習をしている	2.74	2.81	-0.07	0.735
全体	3.37	3.29	0.08	0.263

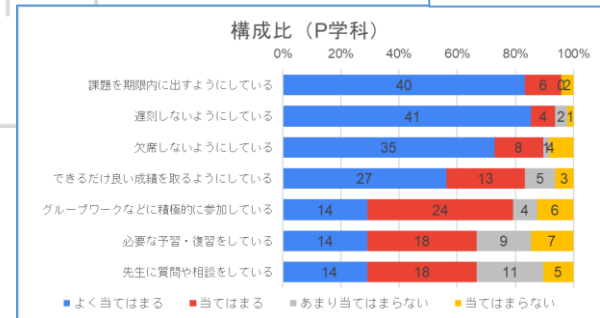
- ・「グループワークなどに積極的に参加」「先生に質問や相談をしている」の平均値が上昇
- ・網掛け部分は前年と比較してt検定で有意($p < 0.05$)

学修意欲調査結果

構成比 (P学科)



前年



- 全体的に「当てはまらない」の構成比が減少

学修意欲調査結果

【相関係数の調査結果】

- 項目別の平均値について、学科・学年別に「学修成果に関する回答の平均値(成長実感)」及びそれぞれの項目との相関係数を調査したところ、全体的に弱い正の相関がみられるが、強い相関関係はみられなかった。

※最も相関係数が大きかった項目：
「グループワークなどに積極的に参加している」
($r=0.451$)

学修意欲調査結果

【相関係数の調査結果】

- 学科別に同様の調査を行ったところ、以下の学科・項目において成長実感の平均値との間に弱い正の相関関係がみられた。
 - 生活プロデュース学科
「グループワークなどに積極的に参加している」 $r=0.540$
 - 生活プロデュース学科
「先生に質問や相談をしている」 $r=0.452$
 - 総合ビジネス・情報学科
「グループワークなどに積極的に参加している」 $r=0.402$

学修方略の調査について

◆2025年度「学修に関するアンケート」設問
「学習の方法について、以下の項目が自分自身にどれくらい当てはまる
かお答えください。」

- 考えてもわからないことは誰かに聞く
- 自分に合った勉強のやり方を工夫する
- 遊ぶときは遊び、勉強する時は集中して勉強する
- 繰り返し書いて覚える
- 友達と教えあう
- 授業で習ったことを自分でもっと詳しく調べる
- テスト等で間違えた問題をやり直す
- 計画を立てて勉強する
- ChatGPTなどの生成AIに質問する

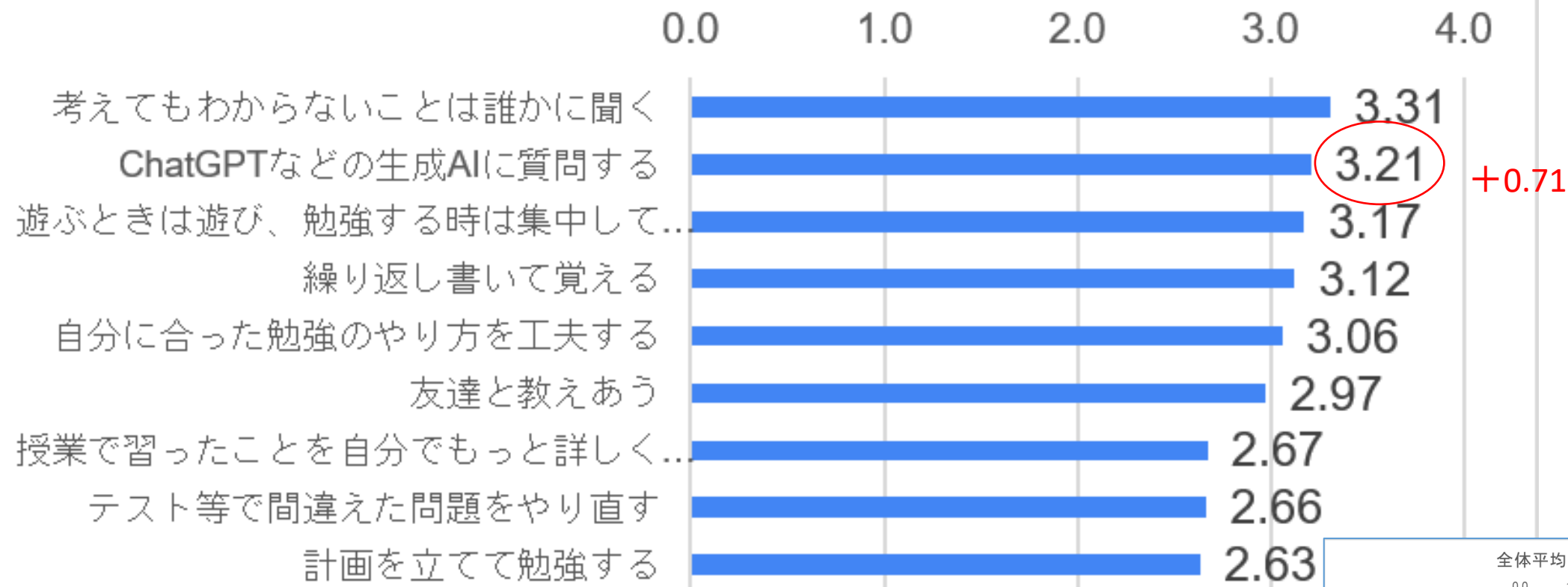
学修方略の調査について

◆回答...

- 当てはまらない(1点)
- あまり当てはまらない(2点)
- 当てはまる(3点)
- よく当てはまる(4点)

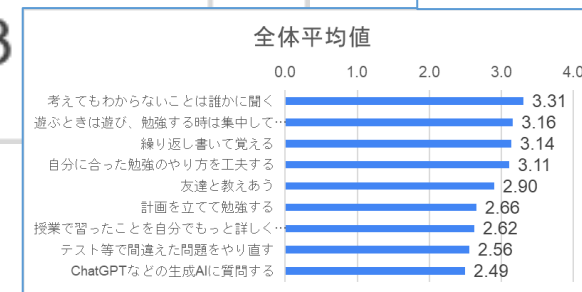
学修方略調査結果

全体平均値



前年

- 「ChatGPTなどの生成AIに質問」は9位→2位に大きく上昇
- 赤丸部分は前年と比較してt検定で有意($p < 0.05$)



学修方略調査結果

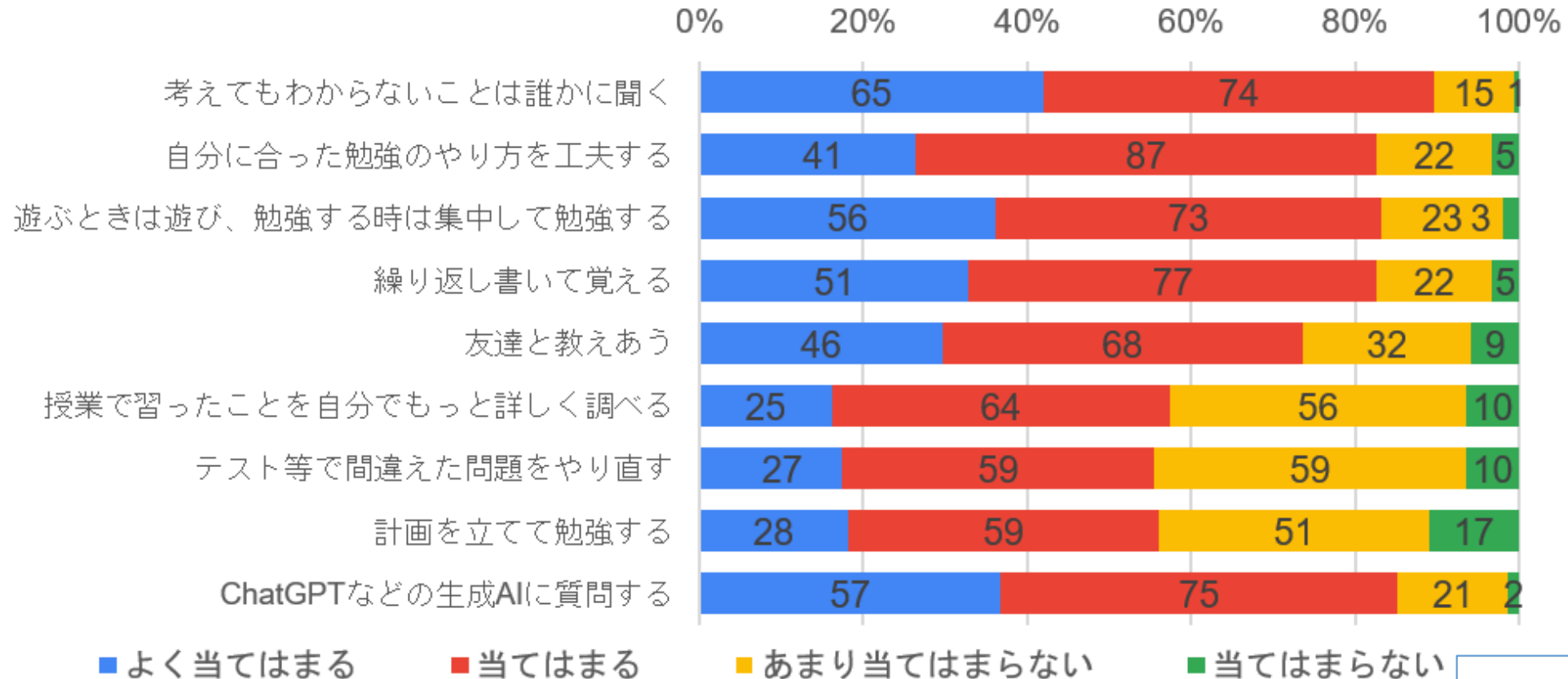
■全体平均値

項目	平均値	前年	差数	t検定
考えてもわからないことは誰かに聞く	3.31	3.31	0.00	0.965
ChatGPTなどの生成AIに質問する	3.21	2.49	0.71	0.000
遊ぶときは遊び、勉強する時は集中して勉強する	3.17	3.16	0.01	0.878
繰り返し書いて覚える	3.12	3.14	-0.02	0.838
自分に合った勉強のやり方を工夫する	3.06	3.11	-0.05	0.497
友達と教えあう	2.97	2.90	0.07	0.458
授業で習ったことを自分でもっと詳しく調べる	2.67	2.62	0.05	0.608
テスト等で間違えた問題をやり直す	2.66	2.56	0.11	0.252
計画を立てて勉強する	2.63	2.66	-0.02	0.810
全体	2.98	2.88	0.10	0.002

- ・「ChatGPTなどの生成AIに質問」の平均値が大きく上昇
- ・黄色網掛け部分は前年との差が有意(t検定結果 $p < 0.05$)

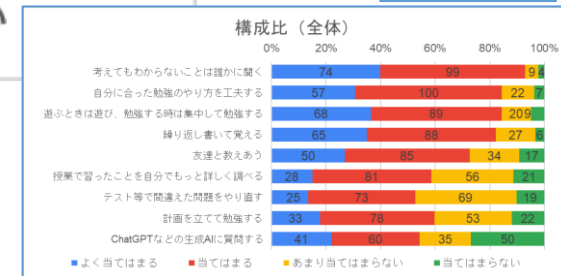
学修方略調査結果

構成比（全体）



前年

- 「ChatGPTなどの生成AI・・・」に「当てはまらない」が減少



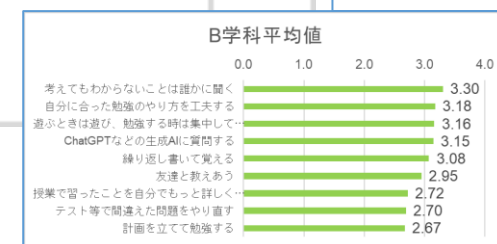
学修方略調査結果

B学科平均値



前年

•「ChatGPTなどの生成AI・・・」は4位→1位



学修方略調査結果

■ 平均値

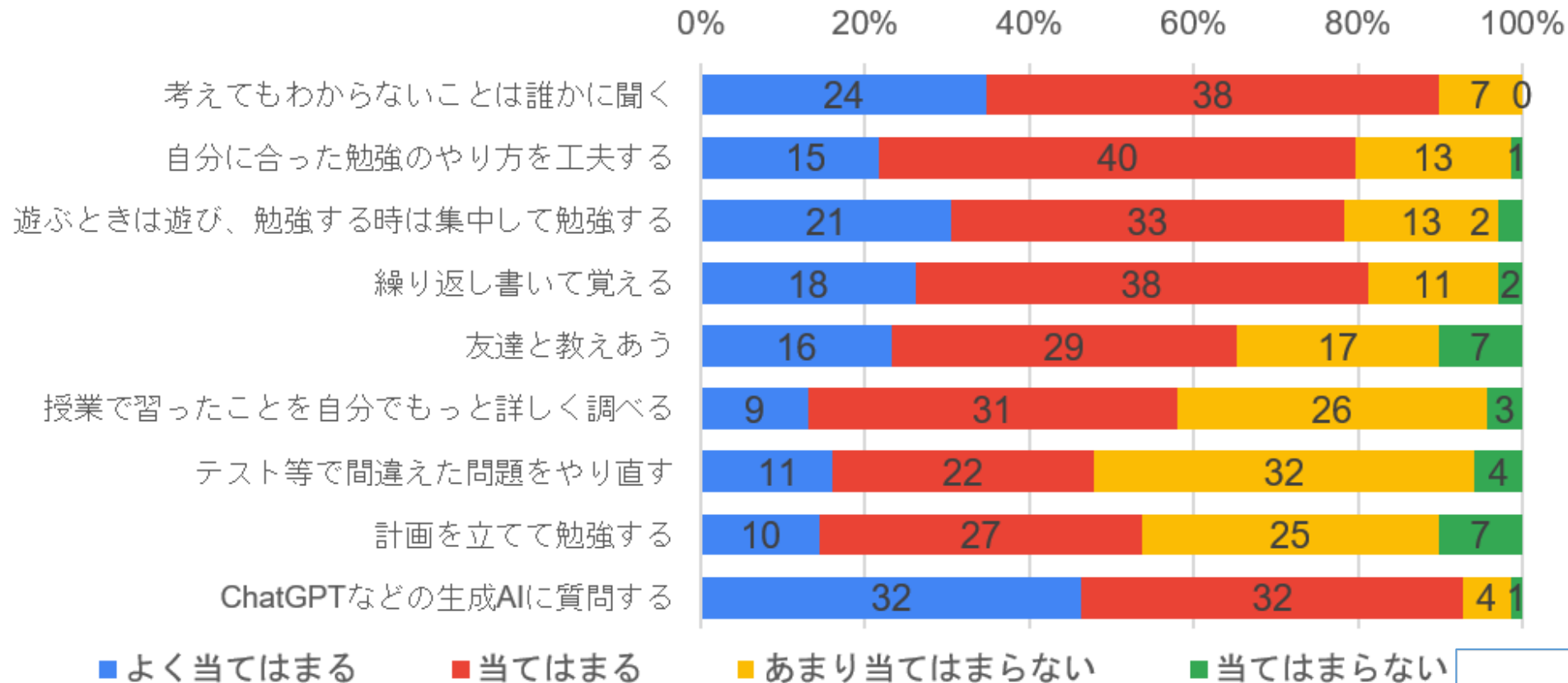
総合ビジネス・情報学科

項目	平均値	前年	差数	t検定
ChatGPTなどの生成AIに質問する	3.38	3.15	0.22	0.070
考えてもわからないことは誰かに聞く	3.25	3.30	-0.06	0.585
遊ぶときは遊び、勉強する時は集中して勉強する	3.06	3.16	-0.11	0.426
繰り返し書いて覚える	3.04	3.08	-0.03	0.795
自分に合った勉強のやり方を工夫する	3.00	3.18	-0.18	0.112
友達と教えあう	2.78	2.95	-0.17	0.273
授業で習ったことを自分でもっと詳しく調べる	2.67	2.72	-0.05	0.673
テスト等で間違えた問題をやり直す	2.58	2.70	-0.12	0.394
計画を立てて勉強する	2.58	2.67	-0.09	0.528
全体	2.93	2.99	-0.06	0.155

- ・「ChatGPTなどの生成AI・・・」のみ増加、その他は全体的に減少

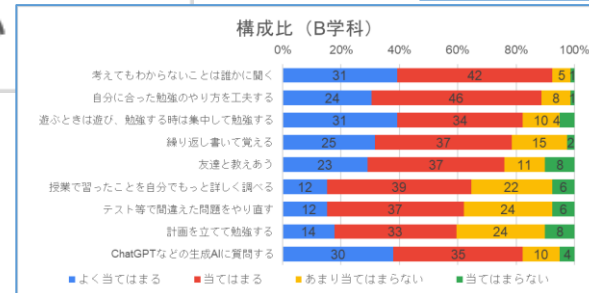
学修方略調査結果

構成比（B学科）



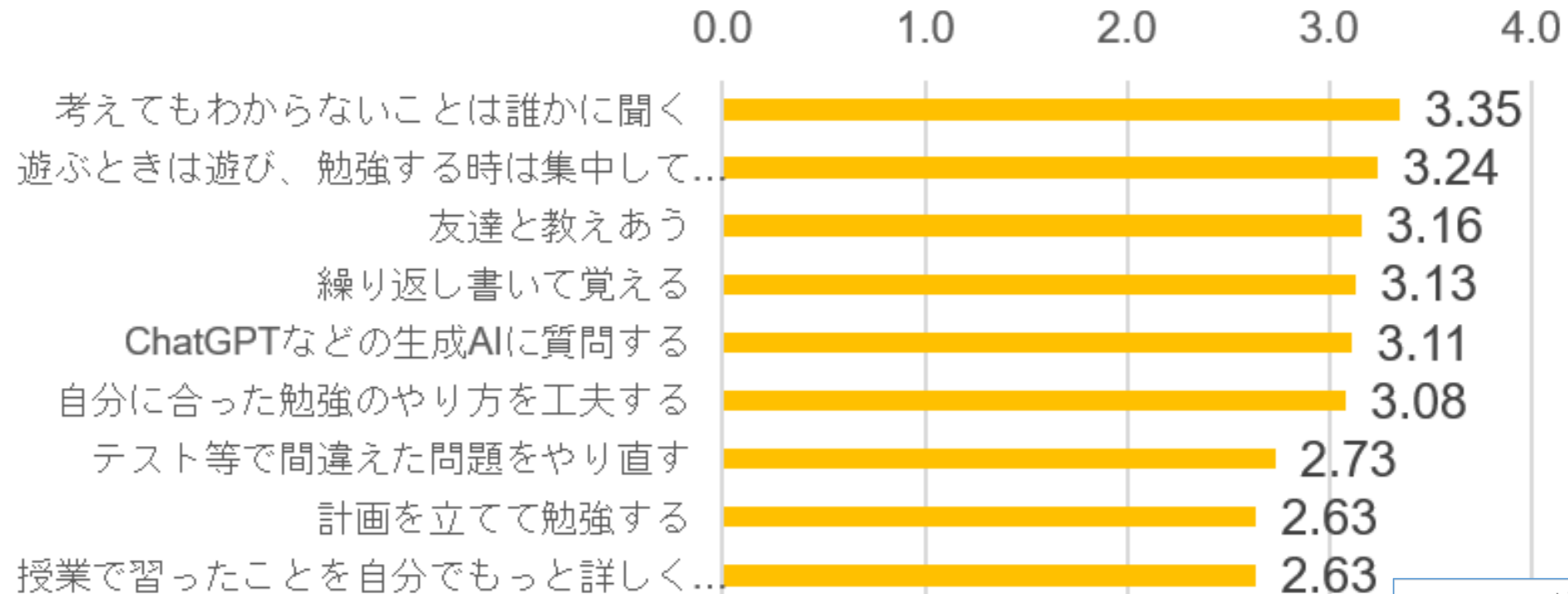
前年

- 他学科と比較して「ChatGPT等に質問」に「良くあてはまる」の構成比が高い

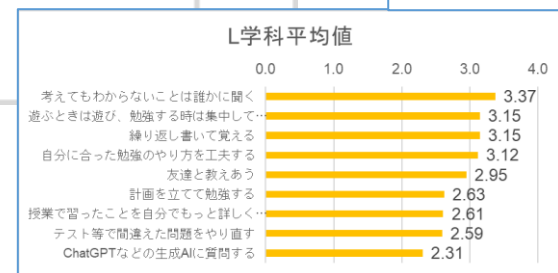


学修方略調査結果

L学科平均値



前年



- 「ChatGPTなどの生成AI・・・」は9位→5位

学修方略調査結果

■ 平均値

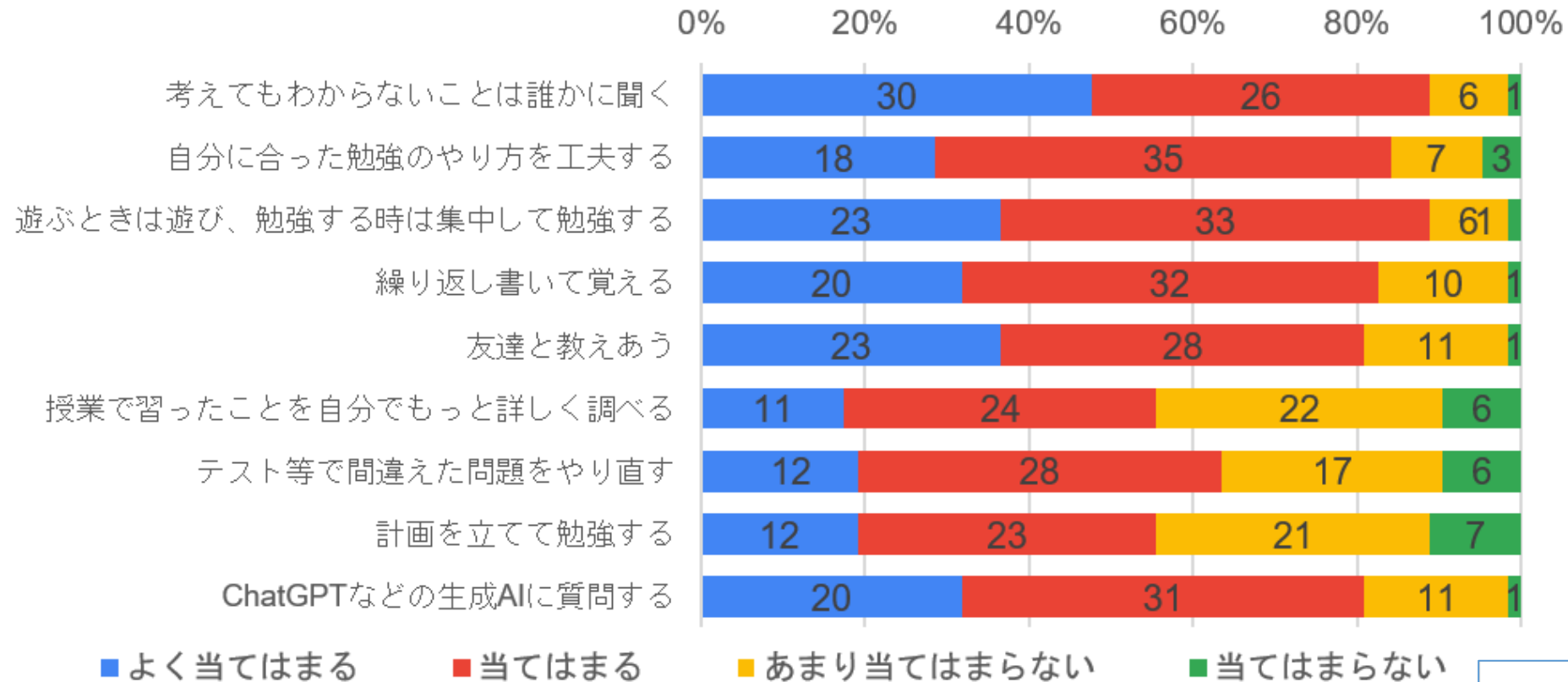
生活プロデュース学科

項目	平均値	前年	差数	t検定
考えてもわからないことは誰かに聞く	3.35	3.37	-0.02	0.848
遊ぶときは遊び、勉強する時は集中して勉強する	3.24	3.15	0.09	0.517
友達と教えあう	3.16	2.95	0.21	0.164
繰り返し書いて覚える	3.13	3.15	-0.03	0.850
ChatGPTなどの生成AIに質問する	3.11	2.31	0.81	0.000
自分に合った勉強のやり方を工夫する	3.08	3.12	-0.04	0.781
テスト等で間違えた問題をやり直す	2.73	2.59	0.14	0.397
計画を立てて勉強する	2.63	2.63	0.01	0.963
授業で習ったことを自分でもっと詳しく調べる	2.63	2.61	0.02	0.879
全体	3.01	2.88	0.13	0.013

- ・「ChatGPTなどの生成AI・・・」「友達と教えあう」などの平均値が上昇
- ・黄色網掛け部分は前年との差が有意(t検定結果 $p < 0.05$)

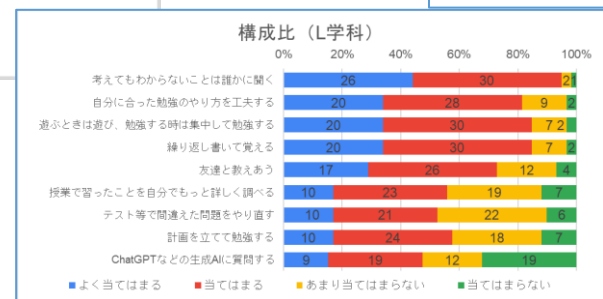
学修方略調査結果

構成比 (L学科)



前年

- 「ChatGPTなどの生成AI・・・」に「当てはまらない」が減少



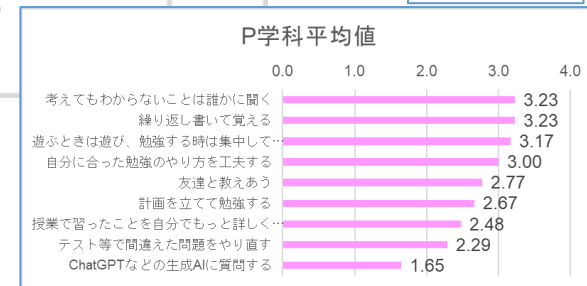
学修方略調査結果

P学科平均値



前年

- 「ChatGPTなどの生成AI・・・」は9位→6位
- 他学科と比較して「生成AI」が当てはまると回答した学生が少ない



学修方略調査結果

■P学科平均値

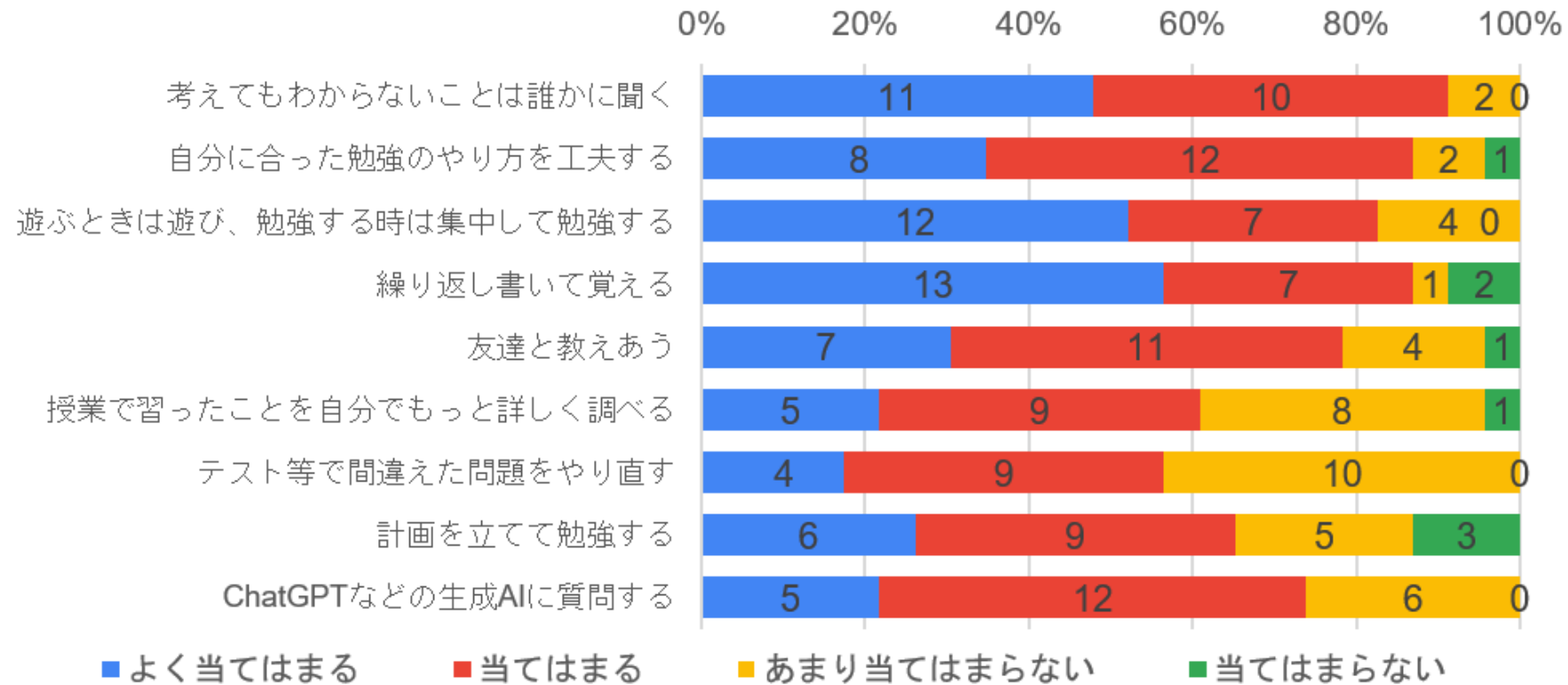
保育学科

項目	平均値	前年	差数	t検定
考えてもわからないことは誰かに聞く	3.39	3.23	0.16	0.351
繰り返し書いて覚える	3.35	3.23	0.12	0.604
遊ぶときは遊び、勉強する時は集中して勉強する	3.35	3.17	0.18	0.368
自分に合った勉強のやり方を工夫する	3.17	3.00	0.17	0.397
友達と教えあう	3.04	2.77	0.27	0.213
ChatGPTなどの生成AIに質問する	2.96	1.65	1.31	0.000
計画を立てて勉強する	2.78	2.67	0.12	0.644
授業で習ったことを自分でもっと詳しく調べる	2.78	2.48	0.30	0.178
テスト等で間違えた問題をやり直す	2.74	2.29	0.45	0.026
全体	3.06	2.72	0.34	0.000

- ・「ChatGPTなどの生成AI・・・」「テスト等で間違えた問題をやり直す」等、全体的に平均値が上昇
- ・黄色網掛け部分は前年との差が有意(t検定結果 $p < 0.05$)

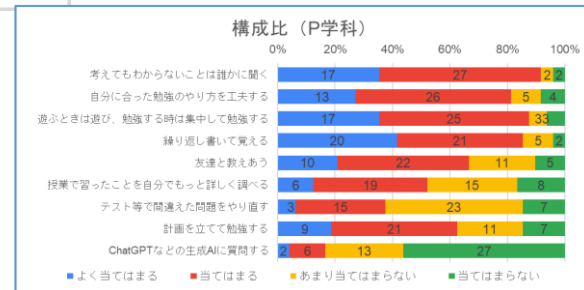
学修方略調査結果

構成比 (P学科)



前年

- 「ChatGPTなどの生成AI・・・」に「当てはまらない」が大きく減少
- 全体的に「当てはまらない」の構成比が減少
- 他学科と比較すると「ChatGPTなどの生成AI・・・」が「よく当てはまる」「当てはまる」と回答した学生の構成比が小さい



学習方略調査結果

- 全学科で「ChatGPTなどの生成AIに質問する」に「良く当てはまる」「当てはまる」の構成比が増加。
- B学科では平均値の全体的な低下、L・P学科では平均値の全体的な上昇がみられた。
- 項目別の平均値について、学科・学年別に「学修成果に関する回答(成長実感)の平均値」との相関係数を調査したところ、全体的に弱い正の相関がみられるが、強い相関関係はみられなかった。

※最も相関係数が大きかった項目：
「自分に合った勉強のやり方を工夫する」
($r=0.314$)

学修意欲・学修方略 調査結果

- 学習意欲と学修方略の回答結果を点数化(1～4点)
 - 学習意欲: 点数が高いほど意欲が高い
 - 学習方略: 点数が高いほど学習方略を多く持っている
- それぞれ中央値で分割し、学生を4つの区分に分ける
 - 中央値: 学習意欲・・・3.29、学習方略・・・3.00

学修意欲・学修方略 調査結果

- Aグループ: 学習意欲があり、学習方略も多い
- Bグループ: 学習意欲があるが、学習方略は少ない
- Cグループ: 学習意欲は低い、学習方略は多い
- Dグループ: 学習意欲が低く、学習方略も少ない

	学習方略が少ない	学習方略が多い
学習意欲が高い	B	A
学習意欲が低い	D	C

学修意欲・学修方略 調査結果

■人数(全体)

	学習方略が少ない	学習方略が多い
学習意欲が高い	B: 33人 (21.3%)	A: 44人 (28.4%)
学習意欲が低い	D: 62 (40.0%)	C: 16人 (10.3%)

- D(学習意欲が低く、学習方略が少ないグループ)に含まれる学生が多く、次いでAグループ(学習意欲が高く、学習方略が多いグループ)が多い

学修意欲・学修方略 調査結果

■成長実感の平均値(全体)

	学習方略が少ない	学習方略が多い
学習意欲が高い	B: 3.41	A: 3.52
学習意欲が低い	D: 3.13	C: 3.38

- Aグループ(学習意欲:高、学習方略:多)が最も高く、Dグループ(学習意欲:低、学習方略:少)が最も低い
- t検定結果が有意($p < 0.05$)となった組み合わせはA×D、B×D、C×D

学修意欲・学修方略 調査結果

- Aグループ(学習意欲:高、学習方略:多)とBグループ(学習意欲:高、学習方略:少)の成長実感の平均値の差はT検定の結果有意ではなかったが、Cグループ(学習意欲:低、学習方略:多)とDグループ(学習意欲:低、学習方略:低)の成長実感の平均値の差には有意な差があった。
- 比較的学习意欲が低いグループの中でも、学習方略を多く持っている学生の方が成長実感を得やすいと考えられる。
→次のスライドではCグループとDグループで学習方略の数値を比較

学修意欲・学修方略 調査結果

■グループ別学修方略平均値

学習方略	C	D	差数	t検定
考えてもわからないことは誰かに聞く	3.63	3.06	0.56	0.003549
テスト等で間違えた問題をやり直す	3.13	2.32	0.80	0.001498
自分に合った勉強のやり方を工夫する	3.38	2.65	0.73	0.000347
遊ぶときは遊び、勉強する時は集中して勉強する	3.69	2.79	0.90	0.000001
繰り返し書いて覚える	3.38	2.87	0.50	0.077694
友達と教えあう	3.56	2.76	0.80	0.000747
計画を立てて勉強する	3.06	2.26	0.80	0.002442
授業で習ったことを自分でもっと詳しく調べる	3.25	2.31	0.94	0.000209
ChatGPTなどの生成AIに質問する	2.88	3.13	-0.25	0.292494

- 特に「遊ぶときは遊び、勉強する時は集中して勉強する」「授業で習ったことを自分でもっと詳しく調べる」「自分に合った勉強のやり方を工夫する」などに差がみられた。

学修意欲・学修方略 調査結果

【調査結果】

学習意欲が低いグループ(C・D)の中でも、学習方略の多少によって成長実感の平均値に差が見られた。

【仮説】

学生が高い成長実感を得るためには学習方略を増やすことが重要。

CグループとDグループを比較したとき、差が大きかった「遊ぶときは遊び、勉強する時は集中して勉強する」「授業で習ったことを自分でもっと詳しく調べる」「自分に合った勉強のやり方を工夫する」等に着目し、学生が学習習慣を身に付けられるような取り組みを行うことで、成長実感を高めることにつながるのではないか。

EOF